

川泉丹 カミヅノ 寄生蟲學者、理學博士。明治十五年十一月〜二十二年生れ。昭和二十七年十月〜二十一年歿（二八二〜九三三）。東京帝國大學理科大學動物學科卒。傳染病研究所、臺灣總督府勤務を経、大正十二年慶應義塾大學醫學部教授。進化論及びダーウイソンの研究にも當る。

著書に、『寄生蟲國日本』（昭和四年一月〜二十一年岩波書店、『學藝叢書』）、

『進化學序論』（昭和八年十一月〜二十五年岩波書店）、『麻刺利亞』

（昭和九年二月十八日鐵塔書院、『鐵塔科學叢書』）、『人體寄生蟲通

説』（昭和十年五月十日岩波書店、『岩波全書』）、『ラマルク動物哲

學・ダーウキン種の起源』（昭和十年十一月五日岩波書店、『大思想文

庫』）、『生物學巡禮』（昭和十一年十月〜二十五年岩波書店）、『視

界』（昭和十二年十月十日岩波書店）、『野口英世』（昭和十四年七

月〜二十四日岩波書店、『岩波新書』）、『常識の科學性』（昭和十六年

三月〜二十九日、『改訂常識の科學性』（二十五年六月〜二十九年岩波書店、『岩

波新書』）、『眉毛眼上集』（昭和十六年五月〜二十改訂社）、『日本

科學史私攷・初編』（昭和十八年

九月〜二十日岩波書店）、『進化學

の展開』（昭和二十二年十一月〜

二十五年文理社）、『科學のつとめ

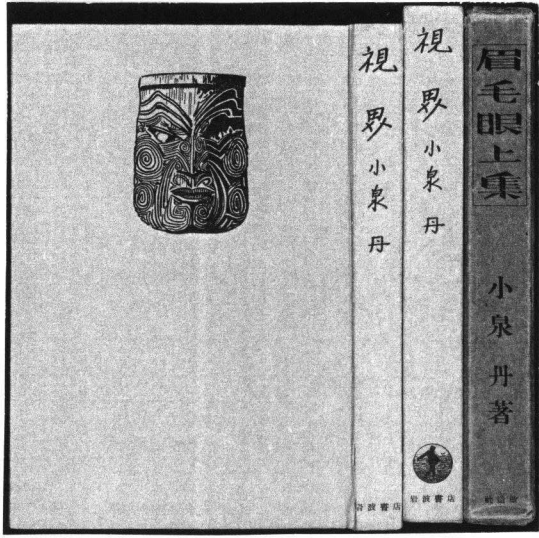
た人々―科學者の書いた科學者の

傳記』（合著、昭和二十四年二月

一日千代田出版社）、『人體寄生

蟲』（昭和二十七年一月〜二十一年

岩波書店、『岩波全書』）、『馬留膽抄』（遺稿、昭和二十八年十月十



- 八百川泉初子刊)、
『蜘蛛毒の研究—その形態學的、生理學的、化學的
的研究』(昭和)一九一九年十月(二十分岩波書店)等。譯書、
『ラマルク著『動物哲學』(山田吉彦共譯、昭和)二年一月(二十五分岩波書店)』
『進化學典(箱叢書)』、復刊(一九一九年十月五日)『岩波文庫』)、
F・ダー
ウキン著『ロチャールズ・ダーウキン』(昭和)二年十月十日
『岩波文庫』)、
メンデル著『雜種植物の研究』(昭和)二年七月(二十五分)『岩
波文庫』)、
チャールズ・ダーウキン著『種の起原』(上卷・昭和四
年十一月二十五日、中卷・十二年六月十五日)『岩波文庫』)、
テイ・
エッチ・ハツクスリ著『科學談義』(昭和)十五年八月十八日
『岩波文庫』)、
A・ハツクスリ著『人種の問題』(昭和)十五年七月二十日

『岩波新書』(一)等。